

フライトアテンダントを目指す方へ

観光立国を目指す日本にとって、インバウンドおよびアウトバウンド旅客に対する、満足度の高いサービスの提供は、環境整備とともに重要基盤の一つと考えられています。またグローバル社会においても、高いコミュニケーション能力を持ち、世界に通じる「おもてなし」が出来る、プロフェッショナルな人材育成及び雇用の需要はますます高まっています。

なぜオーストラリア・ニュージーランドなの？

すでに観光立国として名高いオーストラリア及びニュージーランドは、航空業界、ホテル業界、旅行業界、レストラン業界を中心とした、あらゆるホスピタリティ分野の研究と実践が盛んです。世界を牽引する質の高い教育を提供しており、海外の政府機関から観光学の教育機関のコンサルタントや、ホテルやカジノ開設準備の協力要請を請負など、ノウハウを提供する役目も担っています。

どんなことが学べるの？

カリキュラムは実際の空港や校内に設置しているキャビンでのロールプレイなど、実践的な知識やスキルを学ぶことができます。また9割がローカルの学生なので、英語力のスキルアップにも繋がる環境です。

どんな学校があるの？

ニュージーランド



New Zealand School of Tourism(ニュージーランド・スクール・オブ・ツーリズム)

国内最大規模の旅行・観光分野専門学校として、本校はオークランド空港内キャンパスを含む、ニュージーランド国内に7ヶ所の教育施設を有しています。クラスの定員は22名と小規模で、一人一人の学生が丁寧な指導を受けられるよう配慮されています。期間は最短1週間から1年・2年の長期のコースまで、ご希望に合わせてお選びいただけます。

・国際線客室業務コース 14週間

オセアニア地区で最も優秀なフライトアテンダントコースとして人気！

フライトアテンダントになるためのトレーニングコース。航空機上での正しい知識と役割について学ぶことができます。いくつかのトレーニングはオークランド空港内のキャンパスで行われます。

教科の一例：

- 旅客航空の基本知識
- 航空機内でのフード・ドリンクのサービス
- 航空機内での乗客マネジメント

Point!

フライトアテンダントとして乗務するための予備知識として保安、サービス共に幅広くカバーされた実践的且つ効果的なコースになっています。

航空知識のクラスやサービスのトレーニングなどは航空会社の新入訓練で実施される内容と同じハイレベルです。またファーストエイドや危険物取扱など、空の上だけでなく実際に活かせるスキルでもあります。

更には観光産業への理解、特に各国に特化した観光情報の授業がある点が特徴的で、楽しんで学べるよう構成された内容になっています

※14週間コースに2週間（個人申し込みの場合は1週間）から参加できる短期プログラムもあります。詳しくは[お問い合わせ](#)ください。

オーストラリア

William Angliss Institute (ウィリアム アングリスインスティテュート)

75年以上の歴史を持つ食・観光・ホテル業界に特化した専門大学です。パティシエ・パン作り、食品化学、キッチンオペレーションやレストランマネジメント、CAや観光ガイド、ホテルオペレーションやホテルマネジメントなどを学ぶことができ、学外提携先での職業訓練を含む実践的な教育を受けることができます。

・客室業務コース 6ヶ月

フライトアテンダントになるためのトレーニングプログラム。様々な経験をつんだ資格のある講師が教えます。オペレーション、非常事態の手順、キャビンサービス、応急処置など実践的な科目を学びます。

教科の一例：

- 非常事態時の対処
- 航空業界での働き方
- フライト中の商品販売

